

# 2019 年度活動報告

(2019 年 4 月~2020 年 3 月)

## (1) 危険物等事故防止対策情報連絡会

消防庁主催の2019 年度危険物等事故防止対策情報連絡会に危険物物流団体連絡協議会の事務局として参加

19 年9 月27 日 経済産業省別館 2F

第1 回：2019 年度危険物事故防止に関する状況の中間報告。（各団体における今年度の事故防止取組み状況及び安全確保に向けた体制作り等）

20 年3 月3 日 コロナ問題により書面会議

第2 回：2019 年度危険物事故防止対策の実施状況および20 年度危険物事故防止対策実施案報告（コンテナターミナル内での違反事故等）

## (2) 危険物施設の風水害対策のあり方に関する検討会

「平成30 年7 月豪雨」や「台風21 号」等により、ガソリンスタンドや危険物倉庫等の危険物施設においても、浸水や強風等に伴い多数の被害が発生しました。学識経験者、消防機関、関係業界団体等から構成される検討会を開催し、危険物施設の風水害対策ガイドラインを取り纏めることとなり、危険物物流団体連絡協議会の事務局として参加

19 年6 月17 日 経済産業省別館 1 階

第1 回：a) 検討の背景について

b) 検討の進め方について

- ①被害実態とハザードマップ等の比較検証
- ②災害リスク分析
- ③風水害被害事業者に対するヒヤリング及び他分野施設等に対する調査
- ④タイムラインに沿った風水害対策の具現化
- ⑤モデル検証

19 年9 月20 日 三田共用会議所 4 階

第2 回：a) 調査分析業務に係る中間まとめ

平成30 年6 月～10 月の期間風水害により被害を受けた危険物施設は797 施設であり、発生原因では「強風」が596 件と最も多く、次いで

「浸水(高潮以外)」が113件、「浸水(高潮)」が43件であった。

b) AI・IoT等の新技術に係る技術動向について

①防災科学技術研究所 防災情報研究部門 SIP4D 利活用について

②AI 防災協議会 SNS等を活用した情報収集・共有方法について

20年3月6日 コロナ問題により書面審議

第3回：当書面審議をもって風水害対策ガイドラインを策定し、

消防危第86号(令和2年3月27日付)危険物施設の風水害対策ガイドラインについて、各都道府県消防防災主管部長並びに東京消防庁・各指定都市消防長宛てに通知が発出されました。

### (3) 危険物UN対応部会

国連の危険物の輸送並びに化学品の分類および表示に関する世界調和システムに関する専門家委員会の下部に位置する危険物輸送に特化した小委員会として国連危険物輸送専門家委員会があります。

この委員会で検討された各国並びに各種団体から提出された提案は、IMDGコードの改正等に反映されます。日本では日本海事検定協会殿の安全技術室が事務局となり国連の危険物輸送専門委員会に参加して提案を行っています。

危険物UN対応部会は、危険物等海上運送国際基準検討委員会が開催する部会で危コン協の事務局が参加し、情報収集に努めています。

19年6月17日

第1回危険物対応UN部会参加

第55回危険物対応UN小委員会7月1日～5日ジュネーブにて開催

日本及び各国からの提案事項について協議

例 スイスからプラスチック製IBCは製造から5年以内となっているのを輸送開始から5年にしたいという提案

19年8月28日

第2回危険物対応UN部会参加

第55回危険物対応UN小委員会の協議内容報告

例1 金属製IBCはPGII、IIIの危険物に限定されているが、1,500L以下の容器に関しては195kps以下圧力であればPGIの液体危険物積載について輸送できることの可否 保留

例2 FRP製タンクの要件に関して、すでにIMDGコードが金属製以外のタンクシェルを認めていることを確認した

19年11月14日

第3回危険物対応UN部会参加

第56回危険物対応UN小委員会への対応策検討

例1 英国からUNポータブルタンクシェルへのチタン使用の可否提案

例2 中国からリチウムイオン電池に適用する充電率規定の追加提案

20年1月20日

第4回危険物対応UN部会参加

第56回UN対応小委員会の協議内容報告

例1 中国からのリチウムイオン電池の充電率規定追加については安全性向上には寄与するが適用基準に合理性があるのか疑問が寄せられ再検討となった。

例2 危険物へのより高い適合性を持ったチタン製UNポータブルタンクについて、脆性特性（延性）に関しての規定がない。アルミニウム合金に認められている、鋼に比して20%の延性があれば可とする規定をチタン製にも適用させるべきとの提案が英国よりなされた。チタン製タンクの普及が進む中、その妥当性について議論され各国専門家の間で検討されることとなった。

(4) 危険物運送要件部会

SOLAS条約の規定に基づき2004年1月1日以降国際海上危険物規程(IMDGコード)が義務化され、わが国危険物運送基準に直接影響を及ぼすことになったことを踏まえ、わが国業界等の意見を的確に反映させること目的とした部会です。

19年は8月23日に開かれ、事務局が参加しました。この中でフランスが問題視していたコンテナの積重ね強度が、ISO規格213,000KgとCSC規格192,000kgで相違があるため、CSC規格をISO規格と同一にするための委員会を設ける提案があることが報告された。

(5) 研修会、講習会

19年4月18日 東京港港湾施設及び湾内乗船見学会実施  
(参加12名)

19 年5 月14 日 (株) 日陸 大会議室  
国際海上危険物規程(IMDG Code)基礎編講習会 講師 本庄顧問  
危険物の法体系や危険物の分類、識別等基礎的事項を講義  
入社歴の若い各社社員を中心に 47 名参加

19 年10 月4 日 東京湾乗船見学会 台風により中止  
4月の港湾乗船見学会に参加できなかった方を中心に18名を予定

19 年11 月6 日 (株) 日陸 大会議室  
IMDG/危規則 よくある質問特選15 解説 講師 本庄顧問  
5月の基礎講座後に寄せられた中から15の質問を中心に解説 参加 49 名  
例 危険物の空容器は危険物か  
ポータブルタンクにサージ板は必要か  
危規則の適用範囲はどこまでか  
危険物を運送する容器の充填率は？

#### (6) 危険物施設の視察、研修

19 年11 月 国土交通省による危険物施設見学会台風の影響で中止  
予定地  
タンクヤード 日本埠頭倉庫株式会社横浜事業所  
危険物倉庫 株式会社日陸横浜物流センター

#### (7) 日本危険物物流団体連絡協議会幹事、事務局会議他

19 年 9 月17 日 消防庁に対し台風による危険物施設被害調査回答  
19 年11 月27 日 第1回 関西物流展に大森会長来賓として出席  
インテックス大阪  
19 年12 月16 日 20 年1月開催賀詞交歓会打合わせ及び国交省、厚労省、消防  
庁挨拶。来賓として参加いただくことのご案内  
20 年 2 月20 日 賀詞交歓会会計報告及び改善点、次回開催案協議  
会場が狭く自由に動けないなどの意見が多数あり、開催場所  
変更、人数制限等対応策検討

#### (8) 理事会

19 年5 月29 日 第34 回理事会開催  
18 年度の活動状況報告と19 年度活動計画案審議

19 年6 月 臨時理事会書面開催 新規入会株式会社日新 審議、承認  
20 年1 月 臨時理事会書面開催 新規入会株式会社三協 審議、承認

(9) 総会

19 年6 月10 日 第22 回：18 年度（18/4～19/3）の活動報告、会計報告、JR  
貨物様講演会他 19 年度（19/4～20/3）の活動計画案について承認

(10) 賀詞交歓会（危物協）

20 年1 月22 日 交詢社にて危険物物流団体連絡協議会賀詞交歓会  
（参加者：233 名、内危コン協67 名）

(11) 親睦会

19 年11 月20 日 第13 回ゴルフ懇親会  
千葉国際カントリークラブにて開催（参加：5 組 19 名）  
優勝 田長丸 雅司様（日本石油輸送株式会社）  
2 位 中西 智彦様（NC ストルト輸送サービス株式会社）  
3 位 吉羽 眞知夫（エクシィフワールドワイドインク）

ご参加者皆様の日頃の行いにより天候に恵まれた中でのプレーでしたが、桜中5 番では、右側土砂の崩落によりテンポラリーグリーンが設置されており、10 月の台風19 号による集中豪雨の爪痕を目の当たりにし、自然災害への備えを改めて考えさせられた日でもありました。